

宮崎市卸売市場特別会計経営戦略【概要版】

1. 策定の趣旨

平成26年に総務省から「公営企業の経営に当たっての留意事項」が通知され、各公営企業においては「現状把握を行った上で、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ること」が求められました。

「卸売市場特別会計」も公営企業に準ずるものとして位置付けられていることから、「宮崎市卸売市場特別会計経営戦略」を策定します。

【戦略策定の主な目標】

開設者・市場関係者が一体となり、安定的な市場事業の継続を行っていくための指針とします。現状を踏まえつつ、長期的な視点をもって、持続可能な運営の実現を図ります。本市場が目指す将来像とその実現のための戦略を生産者や小売業者等はもとより市民へ公表します。

【計画期間】

令和3年（2021）度から令和12年（2030）度までの10カ年とします。

2. 全国の市場を取り巻く環境の変化

- 【近年の動向】人口減少や高齢化、食生活の変化等により生鮮食料品等の消費量が減少
- 【流通の状況】都市部への人口集中や鮮度維持技術の向上等により地方の集荷力が低下
インターネット等を利用した取引拡大により市場経由率が低下
- 【改正市場法】大幅な規制緩和による取引の多様化への期待

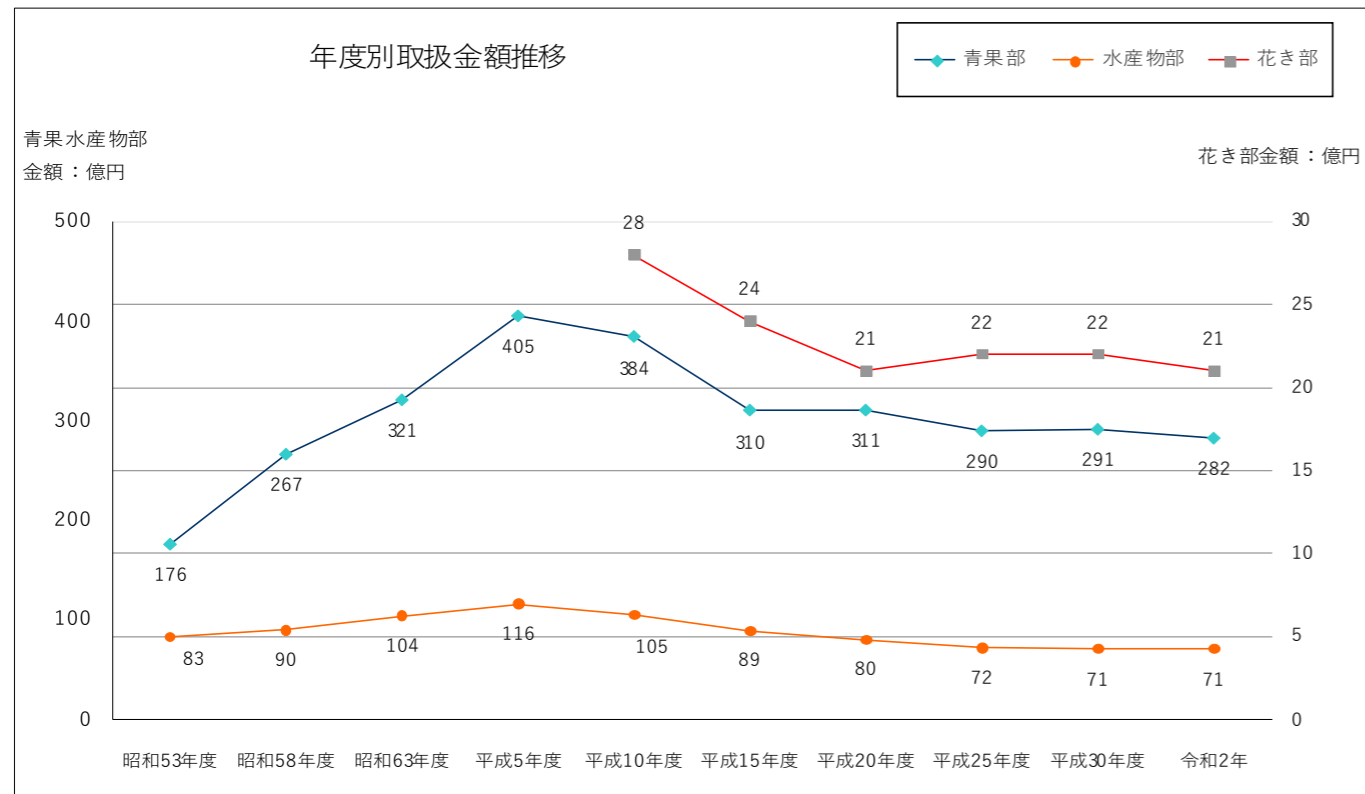
3. 本市場の現状

1) 市場の概要

- 【開設認可】昭和52年6月26日 【開設区域】宮崎市 【敷地面積】165,075㎡
- 【業務開始】青果部・水産物部：昭和52年7月11日 花き部：平成7年5月29日
※花き部は平成24年4月、水産物部は平成25年4月より地方卸売市場に転換

2) 取扱高等の状況

- 【取扱高の状況】3部（青果部・水産物部・花き部）ともに平成初期をピークに取扱高は減少傾向
- 【事業者の状況】市場経由率の低下による取扱高の減少に伴い市場内の仲卸業者等が減少
- 【市の財政状況】売上高使用料収入の減少と施設の老朽化に伴う修繕費の増加により市繰出金が増加



4. これまでの取り組み

1) 宮崎市卸売市場経営展望

人員等の経費を削減するとともに、平成26年4月に策定した計画に基づいた取り組みを進めてきました。

2) 施設整備計画

5年ごとに「整備計画」を策定し、計画的に施設の更新工事や改修等を行ってきました。令和2年度に施設の耐力度調査を行い、「宮崎市中央卸売市場個別施設計画」として令和3年度から7カ年の整備計画を策定し、今後、計画に基づき効率的に老朽化している施設の改修工事を行います。

5. 本市場の課題と戦略

1) 卸売市場特別会計における課題

令和3年度の予算額は歳入歳出ともに875,000千円で、市からの繰入金が57,451千円となっています。歳入予算では、約39%が使用料収入によるものとなっており、使用料収入の安定化を図るためには卸売業者等、市場内事業者の経営健全化を図る必要があります。また、市場内事業者の廃業等による空きスペースが増加しており、施設使用料収入の増加を図るためには新たな活用策等の検討が必要です。歳出予算では、約59%が施設整備や維持管理に伴うものとなっており、施設整備計画の見直しによる工事費や維持管理に伴う委託費等の削減が必要です。今後、目標耐用年数である60年以降の「市場のあり方」についての検討が必要になってきます。

2) 課題解決に向けた戦略

(1) 使用料収入等に関する戦略

【戦略1 経営健全化支援への取り組み】

- ①公認会計士等への委託 ②売上高向上支援策等の検討

【戦略2 空きスペース等の活用策の検討】

- ①仲卸業者の入店基準等 ②関連商品売場棟の入店募集
- ③バナナ加工施設の活用 ④市場の宣伝、PR など

(2) 卸売市場特別会計の支出に関する戦略

【戦略1 宮崎市中央卸売市場個別施設計画の見直し】

- ①年次整備計画の見直しについて

【戦略2 維持管理に係る費用削減の検討】

- ①委託費の見直し ②修繕費の見直し ③その他費用の見直し

(3) 市場のあり方に関すること

【戦略1 市場のあり方の検討】

- ①市としての考え方の整理 ②市場の再整備に係る予定スケジュール

(4) その他

【戦略1：新型コロナウイルス感染症対策としての支援策の検討】

- ①減免の継続 ②施設及び設備の対応 など



本市場の全景



水産物部のセリ状況

6. 今後の計画

1) 収支見直し

今後の「収支見直し」として、令和2年度から令和19年度までの期間で策定します。「戦略」の取り組み期間外の令和13年度以降については、参考的な収支見直しとなっています。ただし、今後の市場施設の劣化状況等により変動する可能性があります。

2) 宮崎市中央卸売市場個別施設計画

本市で策定している「宮崎市公共施設等総合管理計画」に基づき、本市場においても今後の維持管理や更新方法等に関する方針を定めるため、「宮崎市中央卸売市場個別施設計画」を策定しました。その中で「年次整備計画」を作成しており、今後は当計画に基づき施設の整備を行っていく予定です。

7. 今後の推進体制

本計画の具体的な推進に向けては、「5. 本市場の課題と戦略」に基づき、開設者及び市場関係者がそれぞれの役割を果たしながら、目的を共有して取組んでいきます。進捗管理に当たっては、定期的に進捗状況の確認を行い、運営協議会において報告します。また、中・長期的な取組みについては、本市場を取り巻く環境の変化を踏まえながら適宜修正を行います。

これらの取組みにより、「開設者・市場関係者が一体となり、安定的な市場事業継続のための指針とすること」、「現状を踏まえつつ、長期的な視点を持ち、持続可能な運営の実現を図ること」を目標とし、本市場が目指す将来像と、その実現のための戦略を市民へ公表します。